

【政治】

19 日：肖盛峰市長、宮城県知事と会見

19 日、肖盛峰大連市長は、宮城県の村井嘉浩知事を団長とする宮城県代表団と会見した。（宮城県は大連に事務所を設立しており、アイリスオーヤマを含め 15 社の宮城県企業が大連に投資し工場を開設している。）

（20 日付大連日報 01 面）

21 日：第 12 期遼寧省党委第 4 回全体会議開催

21 日、第 12 期遼寧省党委第 4 回全体会議が瀋陽において開催された。会議は遼寧省党委常務委員会が主宰、李希遼寧省党委書記が省党委常務委員会を代表して活動報告を行った。会議は、李希書記の活動報告及び「中国共産党遼寧省第 12 期委員会第 4 回全体会議公報」を審議し採択した。

（22 日付大連日報 01 面）

22 日：大連市党委常務委員会拡大会議開催

22 日、大連市党委常務委員会拡大会議が開催され、大連市人代常務委員会、市政府、市政協、市法院及び検察院の党組織の上半期の活動報告が聴取された。更に、各区市県の党委及び開放先導区の党工作委の上半期の活動状況の報告が聴取され、下半期の活動任務について研究指示がなされた。また、新たに修正された「中国共産党巡視工作条例」、「中共中央『中国共産党巡視工作条例』修正に関する決定」及び遼寧省におけるその貫徹実行に関する意見について学習され、大連市における貫徹実行作業について研究指示がなされた。会議は、譚作鈞大連市党委書記が主宰した。

（24 日付半島晨报 A06 面）（25 日付大連晩報 A02 面）

24 日：大連駐屯部隊の有償サービス全面停止に関する軍地方調整指導小組拡大会議開催

24 日、大連駐屯部隊の有償サービス全面停止に関する軍・地方調整指導小組拡大会議が開催された。会議では、習近平総書記の軍隊と武装警察が有償サービスを全面的に停止することに関する重要講話の精神が深く学習貫徹され、国務院、中央軍事委員会及び遼寧省の関連会議の精神が伝達・貫徹され、大連市における貫徹実行工作について研究・指示がなされた。会議は、譚作鈞大連市党委書記が主宰し、譚書記及び肖盛峰大連市長が講話を行った。また、大連軍分区の陳道金政治委員が軍と地方の調整工作について指示を出した。

（25 日付大連晩報 A02 面）

24 日：第 15 期大連市政府第 16 回全体（拡大）会議開催

24 日、大連市政府は、第 15 期第 16 回全体（拡大）会議を開催した。会議では、大連市党委常務委員会が市政府党組織から聴取した活動報告及び譚作鈞大連市党委書記の講話の精神、上半期の経済運営状況が伝達され、今後の作業について指示がなされた。肖盛峰市長が出席し講話を行った。

（25 日付半島晨报 A02 面）

大連市国資委副主任、党籍を剥奪・公職を解任

大連市紀律検査委員会によると、陳吉彦大連市国有資産監督管理委員会副主任（同委員会党委委員）は収賄等の重大な紀律違反で党籍を剥奪・公職を解任された。

（25 日付大連日報 02 面）

【経済】

18日：東風日産大連工場、「日産グローバル社長賞」受賞

18日、大連保税區に位置する東風日産大連工場が、横浜の日産本社において「日産グローバル社長賞・品質最高工場」を受賞した。同工場は、自由貿易試験區建設の勢いを借りて実體産業を大きく発展させ、世界最高品質のインフィニティ生産基地の建設に全力を注いでいる。

(21日付大連日報 02面)

20日：肖盛峰市長、全国工商連副主席と会見

20日、肖盛峰大連市長は、徐冠巨全国工商連副主席（伝化集团有限公司董事長）と会見した。

(22日付大連日報 02面)

大連市貿易総額が2,106億元に大きく増加

大連税関の統計によると、大連市の今年上半期の貿易総額は2,106.7億元で、前年同期比29%の増加。日本との関係では、同市の対日貿易額は前年同期比16%の増加で、その額は全体の貿易額の18.4%を占める。

(23日付大連日報 01面)

24日：第15期大連市政府第74回常務会議開催

24日、大連市政府は、第15期第74回常務会議を開催し「大連市都市公立醫院綜合改革實施意見」「大連市政務情報資源共有管理暫定施行弁法」等の議題を審議・採択した。肖盛峰大連市長が会議を主宰し、講話を行った。

(25日付大連晩報 A02面)

25日：譚作鈞書記・肖盛峰市長、台湾の東北視察団一行と会見

25日、譚作鈞大連市党委書記・肖盛峰大連市長は、海峽兩岸關係協會（海協會）の陳徳銘会長率いる台湾の東北視察団一行と会見した。譚書記・肖市長は、台湾ビジネス關係者に大連での投資・起業のための良好な環境を作っていく旨述べた。

(26日付大連日報 02面)

25日：大連市、今年上半期の新規契約ベース外資導入額は132.6億米ドル

25日、大連市外經貿局及び統計局によると、今年上半期、大連市で新規に許可された外資企業は90社で、契約ベース外資導入額は前年同期比4.2倍の132.6億米ドル（約1兆4800億円）であった。実行ベースでも21億米ドルで、14.7%増。今年に入って大連市は全方位に企業誘致・資金導入を進めており、外資の利用は安定の中に成長が見られる。

(26日付大連晩報 A02面)

(注) 7月20日～7月26日の大連日報、半島晨報、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。